

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



大分県佐伯市
が応援するふるさと名物

佐伯がいちばん！
食の宝庫・佐伯市
市民が誇りを持つ
新鮮な農水産物や加工品群





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

平成31年2月13日

応援宣言

大分県佐伯市

地域の
プロフィール

九州一広い土地が育む豊富な農林水産物

平成17年3月3日、大分県佐伯市と大分県南海部郡の5町3村が合併して、広大な新「佐伯市」が誕生し、平成27年3月で合併10周年を迎えました。

佐伯市は、大分県南東部に位置し、人口72,211人（平成27年国勢調査確報値）、面積は903.11平方キロメートル、海岸線延長約270km、九州で一番広い面積をもつまちです。地勢は、九州山地から広がる山間部、一級河川番匠川下流に広がる平野部、リアス式海岸の続く海岸部に大きく分けられます。これら自然の特性は、豊富な森林資源を背景にした林業、温暖な気候を利用した農業、豊後水道の恵みを生かした水産業を、それぞれはぐくんでいます。

「佐伯の殿様、浦でもつ」と昔から言われるほど、豊かな魚介類を中心に、海の幸・山の幸に恵まれた自然の豊かな地域だけに、古くから農林水産・関連産業が盛んなまちです。



ふるさと名物の内容

地域資源 (水産物)

◆県内随一の水産都市 佐伯市

佐伯市は大分県で最も水産業が盛んなまちで、県下の7割近い生産量を占めています。リアス海岸の複雑な地形と森や川からの豊富な栄養塩に恵まれた漁場では、多彩な天然魚介類が漁獲されており、水揚げされる魚種は350種以上といわれています。漁法も多岐にわたり、巻き網、定置網、底曳網、船曳網、はえ縄、潜水漁業など、地域ごとに特色ある漁業が営まれています。また、波浪の少ない静穏な地理的条件をいかして岩牡蠣や真珠などをはじめ、近年では、ブリ、ヒラメ、マグロの養殖業が盛んに行われており、その生産量は年々増加し、全国2位となっています。



・アジ ・鮎 ・牡蠣 ・ハモ ・ぶり ・真珠



ふるさと名物の内容

地域資源（農産物）

◆豊かな土壌がうみだす自然の恵み

温暖な気候と広い土地を利用して早期米・安全で安心できる米づくりとして特別栽培米〈減農薬栽培〉が推進・栽培されています。そのほか、トマト、イチゴ、ニラ、温州ミカン、ポンカン、かぼすなどの野菜・果樹とキク、スイートピーなどの花き、畜産は鶏、肉用牛、それに茶などと種類豊富です。このうち、米は「唄げんか」、「ほたる」などのブランド化が図られ、施設園芸ではアスパラガスやホオズキも栽培されています。茶は独特の香りを持つ本匠地区の「釜炒り茶」が有名です。また林業も盛んで市の面積の9割近くが森林で、そのうち人工林が5割強を占めます。この人工林の9割をスギが占めていて、佐伯市産のスギは、材質、形状とも木材業界で人気が高く、木材市場での価格は九州トップクラスです。広葉樹では、クヌギ、ナラを原木とした乾しシイタケの栽培も盛んです。



・米 ・かぼす ・しいたけ ・茶 ・いちご ・生姜 ・マリンレモン



ふるさと名物の内容

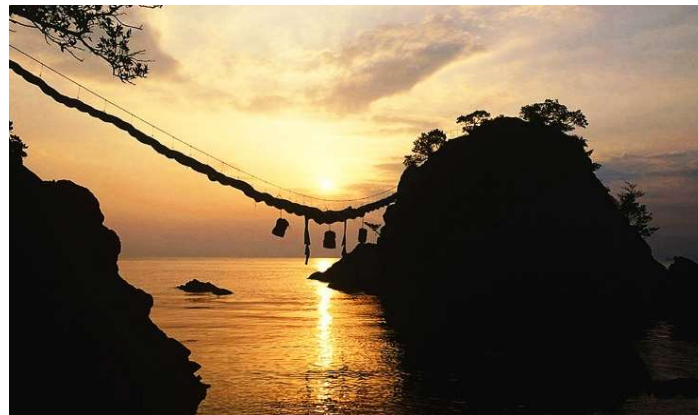
◆街・浦・里にあふれる製品と技術

緑に囲まれた歴史のある街、豊かな海に繋がる浦、深い山々に清流が流れる里。自然の恵みは、佐伯の宝です。「佐伯の人手間」にこだわり、丹精込めた産品、あったかくて懐かしいふるさとの味をそれぞれの地域ごとにお届けします。

地域資源
(鉱工業品及び観光資源)



・粳・焼酎・日本酒・味噌・ミネラルウォーター・ごまだし・佐伯寿司・佐伯ラーメン
・ちりめん・干物・佐伯城下町・日豊海岸・豊後二見ヶ浦・宇目鉱泉・直川温泉



ふるさと名物の内容

地域資源（その他）

◆九州オルレ さいき・大入島コース



（距離）10.5km （所要時間）3～4時間 （難易度）中～上級

大入島は佐伯港からフェリーで約7分の場所にある離島です。

桓武天皇東征の折り、日向泊へ立ち寄り弓を突き立てると清らかな水が湧き出したという伝説のある島。一周わずか17km。

波音を聞きながら歩く海岸沿いや、四国や豊後水道のほか、佐伯市街を一望できる360度パノラマの「遠見山展望所」、島の今昔を肌で感じられる集落道など、島ならではの特徴を活かしたコースとなっています。途中、遠見山(193.5m)を登るAルートと守後浦の海岸線をゆったりと散策するBルートがあります。



九州オルレとは

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。自然豊かな済州島で、トレッキングをする人が徐々に増え、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになり、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。

九州オルレは、済州オルレの姉妹版で、四季の美しい風景やその土地の歴史や食などの魅力を五感で感じ楽しみながら歩くコースです。

ふるさと名物①

佐伯市は恵まれた漁場を背景に、水産加工品が盛んに営まれてきました。伝統の技に現代の技術を組み合わせながら、おいしい干物や練り製品・ごまだし（郷土料理）などを作り続けています。また品質にこだわった真珠の加工製品は、誰もが一度は身に着けたいとあこがれる逸品です。



あじ開き



みりん干し



子持鮎の姿煮



ちりめん



いりこ



ぶりカツ



あつめし



ハモチリメン味噌



くじゃく



すりみ



岩牡蠣バター



真珠製品



ごまだしうどん

焼いてほぐしたエソ類などの魚の身を胡麻を搗り潰して、醤油等を混ぜて作られる佐伯市の調味料である。代表的な「ごまだしうどん」をはじめ、和え物や冷奴など、応用範囲の広さはまさに万能です。



ふるさと名物②

佐伯市を流れる番匠川は、その水の美しさで知られる九州屈指の清流。水がおいしいところには、おいしい作物や米も実ります。おいしい水と米に恵まれた土地には、おいしい酒を造る酒造もあります。おいしい作物には生産者の思いが込められ、この作物をいつでもおいしい状態で届けられるようにと、事業者が創意工夫をこらし商品開発に取り組んでいます。



かぼす甘酒



酒造のあまざけ



大分麦焼酎ぶんご太郎



本格焼酎天下無敵



佐伯飛翔



雪ん子寿し



やよい生姜ティー



生姜コロッケ



蒸ししょうが（粉末）



生姜ぽん酢



ばあばの混ぜめし



からし椎茸なばっこ



山んだし

ふるさと名物③

地域資源の豊富な佐伯市は農水産加工品以外にもスイーツなどにも地域資源を積極的に利用し、子供からお年寄りまで幅広い年齢層にPRを行い認知度を図っています。互いの事業所が連携して商品の共同開発を行うなど、伝統を守りつつも新たな商品の製造に取り組んでいます。



岬のちりめんパン

黒炒り玄米の生地
に、ちりめんや黒ごま
などを混ぜ込んだ手
作りパン。一見、不
思議な組み合わせ
に思えますが、噛む
ほどに味わいを増す
ちりめんパンは食べれ
ば納得のうまさです。
黒炒り玄米は抗酸
化作用などの効果を
もつ健康食材。



SAIKI ラスク

佐伯市を代表する
名物「ごまだし」「マリ
ンレモン」「生姜」で
個性あふれるラスク
を作りました。特製
のバケツに塗るのは
、塩糎で素材の味を
引き出した3つの食
材。こんがり焼きあ
がったラスクは、サク
サクとした食感の中
に豊かな風味が香り
ます。



弥生ぶっせ

生地に生姜のパウ
ダーを、クリームに
生姜の絞り汁を加
えることで、程よい
甘さの中に爽やか
な辛さがほんのり
香るブッセが生ま
れました。お子様
からご年配の方ま
で、世代を超えて
喜ばれる人気の
味です。



佐伯藩 菊姫物語

地元産のイチゴで作
ったゼリーをブラウ
ニーの生地でサンド
した新銘菓。しっとり
柔らかな食感のブラウ
ニーはプレーンとイチ
ゴの2種類で、味の
違いを食べ比べる
のも楽しそう。イチ
ゴの風味たっぷりの
洋菓子は、お土産
やお茶請けにも最
適です。



おおいた すきつ茶

九州屈指の清流と
山あいの澄んだ空
気の元、自家茶園
で育てた因尾茶を
使用。大切に摘み
採った茶葉を極限
まで使用した乳菓
饅頭は、口に入れ
た途端豊かな風味
とやわらかな苦み
が広がります。

市町村の取り組み

1

独自の支援策



さいき殿伝キャラクター

さいき殿伝の由来

佐伯産品の中でも、市民が特に優れていると思う商品を、自然・歴史・文化の上に、豊後佐伯藩のお殿様が自ら、自信を持って伝えていくというイメージをもとに命名されました。

佐伯市ブランド推進協議会

多様な実需者及び消費者ニーズに迅速かつ柔軟に対応することにより、生産者の所得向上及び佐伯市農林水産業の振興を図ることを目的に、関係機関との連携のもと、佐伯市特産品のブランド化に向けた取組等について情報交換を行うとともに、試験的な契約取引等の支援及び必要な検証を行う組織。

でんでん

さいきブランド認証「さいき殿伝」

佐伯を代表し、市民に愛され、市民が誇りを持てる佐伯のお宝を全国に広めたい。そのような思いから、平成24年にスタートしたのがさいきブランド認証制度「さいき殿伝」です。佐伯市ブランド流通促進協議会では、佐伯を代表し、市民に愛され、市民が誇りを持てる佐伯のお宝を「さいき殿伝」として認定や認証しており、県内をはじめ県外へ情報発信しています。



さいきブランド流通促進等事業

本市の農林水産物及び加工品のブランド化や流通促進等につながる事業に対して補助します。

新商品及び新サービスの開発や既存商品等の改良に必要な費用の一部を助成します。また、商品力向上のため、専門家派遣によるアドバイスも受けることも可能です。